

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会（書面開催）
※新型コロナウイルスの感染防止を図るため、書面開催とした。
- 2 開催日時 令和3年2月19日（金）から令和3年3月4日（木）（意見聴取期間）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 出席した者の氏名（※委員については、議決権行使書の提出をもって出席とみなす。）
 - (1) 委員 加藤 高藏, 櫻場 誠二, 大津 亮一, 内田 敏雄, 林 太一,
石川 よう子, 坂口 修治, 大和田 渉, 楢崎 ひろ子, 鹿倉 よし江,
鈴木 律子, 堀井 武重, 深作 陽右, 小森 達夫, 澤 利彦,
丹下 美津子, 國府田 敬二郎
 - (2) 執行機関 小林観光課長, 川俣観光課副参事兼課長補佐,
篠原観光課企画物産係長, 永井観光課主事
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 後期先導プロジェクトの進捗状況について（公開）
 - (2) インバウンド観光推進プロジェクトについて（公開）
 - (3) コンベンション誘致推進プロジェクトについて（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人（書面開催により）
- 8 会議資料の名称
令和2年度水戸市観光審議会資料, 水戸市観光審議会委員名簿, 水戸市観光審議会条例,
水戸市観光基本計画（第3次）後期先導プロジェクト（資料1及び2）
- 9 発言の内容
書面により意見を聴取した。以下概要。
 - (1) 後期先導プロジェクトの進捗状況について
 - ・水戸の個性と魅力の磨き上げプロジェクト推進にあたっては、水戸市がNHK大河ドラマ「青天を衝け」の舞台になったことを活かし、観光誘客を図れると良い。
 - ・北関東中核都市の連携を強化し、広域観光を促進してほしい。
 - ・優良タクシー乗務員認定制度同様に、優良バス乗務員の認定制度を用意してはどうか。
 - ・季節ごとの花の見方・楽しみ方を分かりやすくPRしてはどうか。
 - ・購買意欲が高まる土産品商品の開発や、それらがどこで買えるか等の情報を分かりやすくPRしてはどうか。

- ・目標値達成に向けては、各所との連携において一段の工夫が必要である。例えば、いばらき県央地域観光協議会の「あす旅」HPでは、県の「観光いばらき」HPへのURLリンクが掲載されているが、その逆はない。閲覧者の利便性向上や関心を引くための工夫が必要ではないか。

(2) インバウンド観光推進プロジェクトについて（公開）

- ・2020(令和2)年度は、コロナの影響で外国人観光客数は落ち込むが、継続した誘客活動をお願いしたい。
- ・外国人観光客を含め、すべての観光客に満足いただけるよう案内表示の整備が必要である。例えば、桜山の梅桜橋のエレベーターには、案内板があるが、日本語のみの記載となっている。最低でも英語や中国語は必要である。
- ・みとちゃんマークを歩行者用案内表示に活用してはどうか。
- ・歩行者用案内表示は、どこのルート上に設置されるのか。国やエリア別に外国人観光客の歩行特性を把握しておくべきである。
- ・外国人観光客向けに、「何を」「どこで」買ってもらうかを具体的に明示した方が良い。
- ・多言語観光パンフレットは、大変参考になると思う。
- ・水戸駅改札コンコース周辺において、祭りやイベントごとに外国人観光客に対して歓迎メッセージの放送を流してはどうか。
- ・外国人観光客が訪日できない今、できることを着実に実行していくことが重要であると思う。
- ・水戸市国際交流協会との連携は、どのようになっているか。

(3) コンベンション誘致推進プロジェクトについて（公開）

- ・ユニークベニューの活用促進・強化していただきたい。
- ・大学とのネットワーク強化やユニークベニューの活用はとても良い。
- ・コロナ収束後においても、コンベンション誘致は厳しい分野である。他市や他県と差別化するためにも、これまで以上に水戸ならではのおもてなしやアイデアが求められる。

上記に相違ないことを確認する。

氏名

堀井 武重

氏名

小森 達夫